

個人研究業績等

個人研究業績等 目次

産業情報学科

教授	時野谷 茂	133
教授	牧田 和久	134
教授	森 文雄	135
教授	石光 真	136
教授	平澤 賢一	137
准教授	井波 純	138
准教授	金子 淳	139
准教授	柴崎 泰秀	140
准教授	中澤 真	141
准教授	高橋 延昌	142
准教授	大津 淳	143
准教授	横尾 誠	144
講師	大橋 良生	145

食物栄養学科

教授	真鍋 久	146
教授	安江 俊二	147
教授	高橋 君子	148
准教授	西村 政子	149
准教授	宮下 朋子	150
准教授	鈴木 秀子	151
講師	鈴木 和	152
助手	大塚 綾子	153
助手	本間 和子	154
助手	谷口亜希子	155

社会福祉学科

教授	下村 幸仁	156
教授	林 恵津子	157
准教授	郭 小蘭	158
准教授	利根川智子	159
准教授	外崎 紅馬	160
准教授	久保美由紀	161
講師	鈴木 崇之	162

【職・氏名】 時野谷茂 (Tokinoya Shigeru) 産業情報学科(デザイン情報コース) 教授

【専攻分野】 建築デザイン 工業デザイン

【担当科目】 デザイン計画論、デザイン史、デザイン情報概論、デザインプロセス論、
デザインプロセス論演習、デザインアイテム論、デザイン実習 I、卒業研究 I・II
地域プロジェクト演習

【主要著書】

- ・「大工道具集」(新建築社、1984) 共
- ・「復元鹿鳴館・ニコライ堂・第一国立銀行」(ユークシープランニング、1996) 共

【主要論文】

- ・日本近代建築保存に関する基礎的研究」(東京大学修士論文 1980.2)
- ・Terraced Houses In London Facade composition analysis from townscape viewpoint (Third Asia Design Conference Proceeding 1998.10)

【所属学会等】

日本建築学会、日本デザイン学会、感性工学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・中国民家研究ノート(会津大学短期大学部研究年報、第 62 号、2005.3)
- ・日本近代建築の保存・再活用に関する研究 旧報徳銀行水海道支店(会津大学短期大学部研究年報、第 64 号、2007.3)
- ・桐材を用いたパーティションユニット(デザイン、製作、設置 2008)
- ・桐材を用いたカウンターデザイン(デザイン 2008)
- ・桐材を用いた組み立て式遊具(デザイン、試作 2008)
- ・桐材を用いた段差調整機能付床ブロック(デザイン、試作 2009)
- ・ロンドンの中・小規模 TERRACED HOUSE 研究ノート(2)(会津大学短期大学部研究年報、第 66 号、2009.3)

【過去5年間に行った口頭発表】

【過去5年間に行った社会的活動】

委員等: 会津若松市景観審議会委員(2007より会長 1990～会津若松市), 西若松駅自由通路景観検討委員会委員長(2005 福島県), うつくしまものづくり大賞 審査委員(2006 福島県), 福島県立会津総合病院建設事業プロポーザル審査委員(2006 福島県), 複合施設整備事業プロポーザル審査委員長(2007 本宮市), 道の駅ひらた建設事業建築基本・実施設計業務委託コンペ審査委員(2007 設計協同組合), 会津若松市郊外住宅団地の住宅改修・住替えの円滑化に関する調査検討委員会委員(2008 超学際的研究機構), 会津統合病院(仮称)実施設計設計者選定方法に関する検討会議長(2009 福島県)・講演等:「景観フォーラム」コーディネーター(2009 会津若松市)

【職・氏名】 牧田和久 (Makita Masahisa) 産業情報学科 (デザイン情報コース) 教授
【専攻分野】 室内計画 住環境計画
【担当科目】 室内計画、設計製図、デザインプロセス論 (インテリア)、デザインプロセス論演習 (インテリア)、デザインアイテム論 (インテリア)、デザイン実習 I (インテリア)、デザイン情報概論、卒業研究 I・II

【主要著書】

- ・「学校施設の人間工学資料集」(富国株式会社、1975) 共
- ・「住居-基礎編、実際編」(小原二郎編、開隆堂出版株式会社、1975) 共

【主要論文】

- ・インテリアイメージの類型化と嗜好に関する研究 (会津短期大学学報, 第 43 号, 1986. 3)
- ・住宅のインテリアカラーコーディネートについて (会津短期大学研究年報, 第 49 号, 1992. 3)
- ・街路景観構成要素のイメージ評価への影響-街路景観のイメージ構造 (その 1) (日本デザイン学会誌デザイン学研究, NO. 94, 1992. 11)
- ・インテリアの質的変化-家具の標準化とシステム化 (日本デザイン学会誌デザイン学研究特集号, 第 2 巻第 3 号, 1994. 11)

【所属学会等】

日本建築学会、日本デザイン学会、日本インテリア学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・空家等地域情報データベース構築事業報告書 (地域活性化センター, 2008. 3)
- ・空家等利活用推進事業報告書 (地域活性化センター, 2009. 3)

【過去 5 年間に行った口頭発表】

【過去 5 年間に行った社会的活動】

会津若松市都市計画審議会委員長 (2001. 7~)、会津若松市観光審議会委員 (1999. 1~2008. 8, H14. 2~副会長)、会津地域道路懇談会会長 (2003. 7~2008. 3. 31)、喜多方・耶麻地域道路懇談会座長 (2003. 5~2008. 3)、会津若松市国土交通省所管補助事業再評価委員会委員長 (2003. 11~)、会津本郷町ミュージアム構想検討委員会委員長 (2004. 8~2005. 3)、会津若松市三本松地区宅地整備事業販売促進会議委員長 (2005. 5~2007. 3)、「目指せスペシャリスト」運営指導委員会委員 (2005. 7~2008. 3)、喜多方市基本計画審議会委員 (2006. 10~2007. 3)、「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」審査会委員 (2007. 7~2008. 6)、会津若松市長期未着手都市計画道路検討委員会委員長 (2007. 8~2008. 3)、喜多方市総合計画フォローアップ委員会委員 (2007. 11~)、ふくしまの棟梁コンクール審査委員会 (2007. 10~、2008. 10~委員長)、会津若松市住居表示整備審議会委員長 (2008. 10~)、あいづふるさと市町村協議会会津いいものガイド作成委託業務プロポーザル審査会委員 (2003. 5~2007. 7)、史跡若松城ライトアップ業務委託に係る企画審査会 (2005. 2~2008. 2)
他

【職・氏名】 森 文雄 (Mori Fumio) 産業情報学科 (経営情報コース) 教授

【専攻分野】 マーケティング、経営学

【担当科目】 マーケティング、経営管理総論Ⅰ・Ⅱ、産業経営史Ⅰ・Ⅱ、地域プロジェクト演習
経営情報概論、卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ

【主要著書】

- ・「小売マーケティング」安部・岩永編著『現代マーケティング論』ミネルヴァ書房、1998年単
- ・「マーケティングの系譜と新展開」鈴木辰治編著『経営学の潮流』中央経済社、2000年単
- ・「企業と消費者」鈴木辰治・角野信夫編著『企業倫理の経営学』ミネルヴァ書房、2000年単
- ・「イタリア地域産業の取引流通システム」小沢勝之編著『流通システムの国際比較史』文真堂、2004年単

【主要論文】

- ・流通センターの設置と企業間関係 (会津大学短期大学部研究年報第56号、1999) 単
- ・消費者問題の特質と課題 (会津大学短期大学部研究年報第57号、2000) 単
- ・中心市街地活性化運動の主体について (会津大学短期大学部研究年報第58号2001) 単
- ・会津七日町のまちづくり : 地域住民と商店主の意識調査を中心として
(会津大学短期大学部研究年報第58号2001) 単
- ・伝統的地場産業の振興と地域ブランドを生かしたまちづくり
(日本地域政策学会「日本地域政策研究」第1号、2003年3月) 単

【所属学会等】

日本地域政策学会 (常任理事)、日本商業学会、日本経営学会、日本中小企業学会、

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・企業倫理とグローバル化 (会津大学短期大学部研究年報第61号2004.3) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・イタリアの地域経済振興とまちづくり (会津若松市産業振興部学習会、2004.11) 単
- ・農産加工対策と農村経済の活性化 (東アジア農業・農村地域政策シンポジウム: 日本地域政策学会・中国遼寧省農林水産部共催、2005.10) 単
- ・グリーン・ツーリズムの多様性 (会津農林事務所グリーン・ツーリズム講演会、2008.2) 単
- ・今後の商業教育と高校時代に身につけさせるもの—高校生の学力向上について— (新潟県立高田商業高校教員学習会、2008.6) 単
- ・中山間地域集落の持続可能性と活性化について考える (只見町集落区長総会、2008.11) 単

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・会津若松市商工審議会会長 (1999年度～現在に至る)
- ・福島県伝統的工芸品産業振興委員会委員 (2003年～)
- ・会津若松商工会議所会津ブランド推進委員会委員 (2006年～) 同認定審査委員長 (2004年～)
- ・福島県県産品振興推進会議委員 (2006年～)
- ・東北6県商業高校生徒商業研究発表大会審査委員長 (2006年)
- ・猪苗代地域日本版デュアルシステム実行委員会副委員長: 猪苗代高校 (2005-2007年)
- ・ふくしま産業応援ファンド事業「地域資源活用型事業専門部会」審査委員 (2007年～)
- ・会津若松市中心市街地活性化協議会委員 (2007年～)
- ・喜多方市観光コンシェルジュ認定審査委員長 (2008年)

【職・氏名】 石光 真 (Ishimitsu Makoto) 産業情報学科 (経営情報コース) 教授

【専攻分野】 財政学

【担当科目】 財政学、経済学 I・II、経済政策 I・II、日本経済論、くらしと経済、総合科目 I
または II、経営情報概論、卒業研究ゼミ I・II、地域プロジェクト演習

【主要著書】

【主要論文】

・クーポン税と源泉税——西ドイツにおける債券利子課税の推移—— (証券経済研究所『証券研究』Vol. 88、1989)

・ドイツ連邦鉄道の経営と民営化の可能性 (東北大学経済学会 研究年報『経済学』Vol. 52 No. 4、1991)

・西ドイツの経済安定政策 (馬渡尚憲責任編集『現代の資本主義 構造と動態』御茶の水書房 330～342 頁 (第 4 章第 2 節 b)、1992)

・ドイツの年金改革——賦課方式内の財源措置と積立方式への部分的移行 (『会津大学短期大学部研究年報』第 58 号、2001)

・ドイツ年金改革の背景 (『東北経済学会誌』2001 年度、2002)

・「日本における出生力低下と人口政策—歴史と経済理論」 (『東北経済学会誌』2003 年度、2004)

・賦課方式年金と反市場主義 (『会津大学短期大学部研究年報』第 62 号、2005)

・年金改革の国際比較—日本は何を学べるか (『会津大学短期大学部研究年報』第 63 号、2006)

【所属学会等】

日本財政学会、公益事業学会、東北経済学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

・「日本における出生力低下と人口政策—歴史と経済理論」 (『東北経済学会誌』2003 年度、2004)

・賦課方式年金と反市場主義 (『会津大学短期大学部研究年報』第 62 号、2005)

・年金改革の国際比較—日本は何を学べるか (『会津大学短期大学部研究年報』第 63 号、2006)

【過去 5 年間に行った口頭発表】

・日本における出生力低下と人口政策—歴史と経済理論— (東北経済学会第 58 回大会 (東北学院大学)、2004 年 10 月)

・年金改革の国際比較—日本は何を学ぶるか (日本財政学会第 61 回大会 (東北学院大学)、2004 年 10 月)

・ドイツ法定年金の給付抑制とリースター年金 (日本財政学会第 65 回大会 (京都大学)、2008 年 10 月)

・ドイツ年金に表れたアメリカ・モデル (東京大学社会科学研究所での研究会、2009 年 1 月)

・リースター年金とドイツ法定年金給付抑制策 (東京大学社会科学研究所での研究会、2009 年 3 月)

【過去 5 年間に行った社会的活動】

2000 年～ 会津坂下町公共事業評価委員会委員

2003 年～2008 年 会津地方環境パートナーシップ会議代表

2005 年 会津若松市文化施設指定管理者候補者選定委員会委員長

2007 年 会津美里町公共事業評価委員会委員

2007 年 会津若松市廃棄物処理運営審議会委員

2008 年 会津若松市行政システム改革懇談会座長

2008 年～ 地球にやさしい“ふくしま”県民会議会津地方会議代表

2008 年 喜多方市固定資産税税率統一検討委員会委員

【職・氏名】 平澤賢一 (Hirasawa, Ken-ichi) 産業情報学科 (経営情報コース) 教授
【専攻分野】 国際経営論
【担当科目】 現代企業論Ⅰ・Ⅱ、国際経営論、外書講読、キャリア開発論、経営情報概論、
地域プロジェクト演習、卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ

【主要著書】

- ・『経営学講義』(奥村恵一編著、中央経済社、1997) 共
- ・『経営の国際開発に関する研究』(奥村恵一編著、多賀出版、1997) 共

【主要論文】

- ・「米系企業と欧州企業の人事部比較：外資系企業を事例として」『日本労務学会研究報告論集』
日本労務学会、2006、単
- ・「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス：日韓事例比較」『日本労務学会研究報告論集』
日本労務学会、2004、単
- ・「外資系銀行人事部の役割」『経営学論集 72 集』日本経営学会編、2002、単

【所属学会等】

Academy of International Business、日本経営学会、日本労務学会、国際ビジネス研究学会、
異文化経営学会、

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・「海外生産拠点における職場摩擦について：国際協力銀行・産能大・野村総研による調査を参照
して」異文化経営学会、2008、単
- ・「米系企業と欧州企業の人事部比較：外資系企業を事例として」『日本労務学会研究報告論集』
日本労務学会、2006、単
- ・「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス」『日本労務学報告論集』日本労務学会、2004、
単

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・外資系企業における人事部門の機能とその変遷 (慶應義塾大学産業研究所ヒューマン・リソー
ス・マネジメント研究会、2007)、単
- ・米系企業と欧州企業の人事部比較：外資系企業を事例として (『ポスト工業化と人事労務の変遷：
海外事情の分析を通して』日本労務学会第36回全国大会・統一論題シンポジウム、2006)、単
- ・A Comparative Study on the roles of HR department of MNC subsidiaries in Japan and Korea
(Japan - Korea Joint Project, Japan Society of Human Resources Management & Korean Society
of Human Resources Management, 2005)、共
- ・外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス：日韓事例比較 (日本労務学会第34回全国大会、
2004)、単

【過去5年間に行った社会的活動】 (委員のみ掲載)

- ・喜多方市行政改革推進委員会 委員 (2003～現在)
- ・(福島) 県立病院事業経営評価委員会 委員 (2007～現在)
- ・福島県立若松商業高等学校 学校評議員 (2007～現在)
- ・65歳雇用導入プロジェクト事業 継続雇用達成会議 委員長 (2003～2007)
- ・会津若松市男女共同参画審議会 委員 (2006-2008)

【職・氏名】 井波 純 (Inami Jun) 産業情報学科 (デザイン情報コース) 准教授

【専攻分野】 工芸 (漆芸)、美術、デザイン

【担当科目】 工芸概論、工芸技法論、デザインプロセス論 (クラフト)、デザインアイテム論 (クラフト)、デザイン情報概論、デザインプロセス論演習 (クラフト)、デザイン実習 I (クラフト)、卒業研究ゼミ I・II、地域プロジェクト演習

【主要著書】

・「アジアのうるし・日本の漆」(東京美術、1996) 共著

【主要論文】

- ・古代長江、漆ロマンを訪ねる 世界漆文化会議、1998 単
- ・中国雲南省瀾滄江リス族そして徳欽へ 世界漆文化会議、1999 単
- ・轆轤文化の調査研究ー中国地方の轆轤文化と技術を中心にー、
広島市立大学特定研究報告、2008 共同研究、共

【所属学会等】

日本文化財漆協会 / (社) 日本漆工協会 / 会津工芸新生会 / 世界漆文化会議

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・乾漆造形作品「Core」制作技法と「日本・韓国 現代漆芸作家による漆芸の現在」展より
会津大学短期大学部研究年報 2007
- ・鳥取の民芸運動と轆轤木地師 / 岡山の木地師 / 島根の製鉄と雲集算盤 以上3編
平成15～17年広島市立大学特定研究[一般研究]研究成果報告書 2008
- ・「ヨーロッパにおける漆芸の現在」会津工芸新生会会報 2009年

作品

- ・「前進する工芸」展 和歌山県田辺市立美術館 2004
- ・「日本・韓国 現代漆芸作家による漆芸の現在」展 東京芸術大学大学美術館 他 2006
- ・「福島現代美術ビエンナーレ2006」展 福島県文化センター
- ・「国際漆展・石川2009」 石川県金沢市めいてつエムザ、輪島漆芸美術館

個展・グループ展

- ・「集いの“うつわ”たち」展 2005 東京銀座 和光
- ・「井波純 漆展」2007 東京町田 ギャラリーウェアミー
- ・「手のひらの宇宙」展 2008 東京銀座 ギャラリー竹柳堂
- ・「井波純 うるし展」2008 東京本郷 ギャラリー愚怜

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・「日本の漆と意匠の歴史」玉川大学芸術学部、2005年～2008年4月
- ・学外研修報告「ヨーロッパにおける漆芸の現在」2008年12月

【過去5年間に行った社会的活動】

南日本女流美術展審査員 (2004年6月)

日本文化財漆協会 理事 (2004年5月～現在)

会津工芸新生会 理事 (2008年1月～現在)

文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業採択事業

〈うるしのくに・会津〉プロジェクト実行委員 (2009年6月～現在)

【職・氏名】 金子 淳 (Kaneko Jun) 産業情報学科 准教授

【専攻分野】 英語教育 英米文学

【担当科目】 英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語Ⅲ・英語Ⅳ・外書講読基礎・基礎英語・総合科目Ⅰ・総合科目Ⅱ

【主要著書】

- ・「スタインベックを読みなおす」(株)開文社、2001) 共
- ・「John Steinbeck の Non-Teleological Thinking と語りの構造」(株)大阪教育図書、2003) 単

【主要論文】

- ・挫かれた英雄—Jung 心理学から見た *Of Mice and Men* (『英文学会誌』新潟大学英文学会, 27, 1996) 単
- ・オフィーリア水死考—水と女と死(『欧米の言語・社会・文化』新潟大学大学院現代社会文化研究科「欧米の言語・社会・文化の総合的研究」プロジェクト班, 3, 1997) 単
- ・誤読されてきた非目的論的思考(欧米の言語・社会・文化)新潟大学大学院現代社会文化研究科「欧米の言語・社会・文化の総合的研究」プロジェクト班, 4, 1998) 共
- ・人生の午後における転換期——Steinbeck の *The Winter of Our Discontent* における物語装置について——(『英文学会誌』新潟大学英文学会, 28, 1999)

【所属学会等】

全国英語教育学会、東北英語教育学会、大学英語教育学会、小学校英語教育学会、日本教育工学会、日本工学教育協会、東北工学教育協会、日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本スタインベック協会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・「スタインベック——生誕100年記念論文集」(株)大阪教育図書、2004) 共
- ・「楽しく読むアメリカ文学」(株)大阪教育図書、2005) 共
- ・「John Steineck: Grobal Frameworks Narrative Structure in *The Grapes of Wrath* and Non-Teleological Thinking」(Osaka Kyouiku Toshosha, 2007) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・ Narrative Structure in *The Grapes of Wrath* and Non-Teleological Thinking (The Sixth International Steinbeck Congress, 2005.8) 単

【過去5年間に行った社会的活動】

実用技能英語検定試験(英検)面接委員(2001年より現在に至る)

秋田県生活環境文化部・県民文化政策課・「あきたの文芸」選考委員(小説部門)

日本文学同好会より講演を依頼され、秋田県生涯学習センター分館ジョイナスにて、講演を行う(2004~2007)

【職・氏名】 柴崎 恭秀 (Shibasaki Yasuhide) 産業情報学科 (デザイン情報コース)

【専攻分野】 建築計画・アート計画

【担当科目】 デザイン情報概論、デザインプロセス論・同演習(インテリア)、デザイン実習Ⅱ(インテリア)、アイデア発想・展開法、表現方法論C、居住環境論、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、地域プロジェクト演習

【主要著書】

- ・「空間要素—世界の建築・都市デザイン」(日本建築学会編・井上書院、2003) 共
- ・「木造住宅納まり詳細図集コンプリート版」(エクスナレッジムック、2008) 共

【主要論文】

- ・持続可能なキャンパス計画の考察と提案—工学院大学八王子キャンパス・スチューデントセンター設計プロポーザルを通して—(会津大学短期大学部研究年報第63号、2006)
- ・会津地域におけるサウンドスケープ調査研究((社)北陸建設弘済会第11回「北陸地域の活性化」研究助成事業論文、2007)
- ・子どものためのアクティビティ・プログラム調査研究(福島県平成18年度地域課題調査研究助成事業論文、2007)
- ・地域主体による国際展の企画運営とアート計画—福島現代美術ビエンナーレ2006の企画運営と展示・アート計画について—(会津大学短期大学部研究年報第64号、2007)
- ・現代木造住宅の矩計類型等に関する考察(会津大学短期大学部研究年報第65号、2008)

【所属学会等】

日本建築学会、子ども環境学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・美術研究所デルタ(建築作品、2006)
- ・福島県現代美術ビエンナーレ2006出展作品「星ノ座」(環境アート作品、2006)
- ・国土交通省国道事務所猪苗代休憩施設「トルパ」(環境装置、2007)
- ・福島県現代美術ビエンナーレ2008出展作品「パッサージュ」(環境アート作品、2008)

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・会津地域におけるサウンドスケープ調査研究、2006年12月15日、(社)北陸建設弘済会での第11回「北陸地域の活性化」研究助成論文発表会
- ・会津地域における建築とアート活動について、2009年5月31日、(社)日本建築家協会東北支部

【過去5年間に行った社会的活動】

福島県会津若松市扇町土地区画整理事業学識経験者委員(2005年度～現在に至る)

福島県現代美術ビエンナーレ常任理事(2005年度～現在に至る)

福島県会津若松市景観審議会学識経験者委員(2008年度～現在に至る)

福島県会津若松市若松城整備審議会副会長(2008年度～現在に至る)

- 【職・氏名】 中澤 真 (Nakazawa Makoto) 産業情報学科 (経営情報コース) 准教授
- 【専攻分野】 情報工学 (知識情報処理、情報理論、計算量理論)
- 【担当科目】 プログラミング論、プログラミング言語論、情報ネットワーク論、経営情報概論、コンピュータ概論(経営)、コンピュータ概論(デザイン)、卒業研究ゼミ I・II、地域プロジェクト演習

【主要著書】

- ・『OS 基礎』オンライン教科書 (法政大学大学院工学研究科、2002)

【主要論文】

- ・ On the Complexity of Hypothesis Space and the Sample Complexity for Machine Learning (IEEE International Conference On SMC,1994) 共
- ・ 形式言語と情報源符号化の関係について (IMSE Technical Report,2002) 共
- ・ On a Weight Structure for On-line Learning and its Mistake Bound (IMSE Technical Report,2002) 共
- ・ セキュリティを考慮した e ラーニングシステム (会津大学短期大学部 研究年報 第 62 号, 2005)
- ・ 授業におけるコミュニケーション強化のための LMS の活用について (会津大学短期大学部 研究年報 第 66 号, 2009)

【所属学会等】

IEEE、ACM、情報処理学会、情報理論とその応用学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・ セキュリティを考慮した e ラーニングシステム (会津大学短期大学部 研究年報 第 62 号, 2005)
- ・ 遠隔講義における双方向コミュニケーションについての課題とその解決に向けて (会津大学短期大学部 研究年報 第 63 号, 2006) 共
- ・ インターネットを用いた大学間連携による遠隔授業の開発と評価 (武蔵工業大学環境情報学部 情報メディアセンタージャナル 第 7 号, 2006) 共
- ・ 情報フィルタリング技術を用いた授業コミュニティ支援システムの構築 (競争的研究資金 文部省科学研究費補助金若手研究, 2006-2007)
- ・ 地域の価値発見を目的とした Web を活用した地域情報データベースの構築 (競争的研究資金 福島県学術教育振興財団助成事業報告書, 2008)
- ・ 授業におけるコミュニケーション強化のための LMS の活用について (会津大学短期大学部 研究年報 第 66 号, 2009)

【過去 5 年間に行った社会的活動】

- ・ 情報理論とその応用学会編集幹事 (2006)
- ・ 会津若松市指定管理者制度選定委員 (2006)
- ・ 山形市立商業高校との高大連携事業 遠隔講義講師 (2007 から現在に至る)
- ・ 第 31 回情報理論とその応用シンポジウム実行委員 (2008)
- ・ 喜多方市との共催事業「農業従事者向けネットショップ開業セミナー」講師 (2008)

- 【職・氏名】 高橋 延昌(Takahashi Nobumasa) 産業情報学科(デザイン情報コース) 准教授
【専攻分野】 グラフィックデザイン
【担当科目】 平面構成、色彩構成、CG 論演習 A、デザイン実習 I、デザイン情報概論、デザインプロセス論、デザインプロセス論演習、デザインアイテム論、地域プロジェクト演習、卒業研究ゼミ I・II

【主要論文】

- ・表現を意図するための構成教育 -構成による見え方の違いをデザイン学習の初期段階において意識するための工夫-、日本基礎造形学会 基礎造形 013、2004、単
- ・造形パターンを活かした CG 教育 -竹ひごアニメーション-、日本基礎造形学会 基礎造形 014、2005、単
- ・動きを手がかりにした構成教育の試み -ライン・アニメーション-、日本基礎造形学会 基礎造形 015、2006、単
- ・Education Method of Color Composition which Made the Motion the Key - advance/recession of color by color animation -, 2007, アジア基礎造形連合学会(ASBDA) 2007 大会記念論文集, 単

【所属学会等】

- ・日本基礎造形学会(理事、事務局長)
- ・日本デザイン学会(正会員)

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・平成 17 年度財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業「福島県内中学校及び高等学校における CG 教育の実態調査」報告書、2005 年度、単
- ・平成 18 年度財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業「中学校及び高等学校における映像メディア表現に関する教育の在り方」報告書、2006 年度、単
- ・Color Animation 2006, 日本基礎造形学会第 17 回大会作品展, 2006, 単
- ・3D View Composition[3], 2006 年度韓国基礎造形学会秋期大会, 2006, 単
- ・Color Animation 2007, アジア基礎造形連合学会(ASBDA) 2007 大会記念作品集, 2007, 単
- ・第 3 回「知的財産の創出と地域貢献」に向けた横断的交流会「ものづくり・ひとづくり・まちづくり -芸術と技術の融合に向けて-」(招待講演), 岩手大学, 2007, 単

【過去 5 年間に行った口頭発表】

- ・中等教育課程の CG 教育とこれからのデザイン教育(日本デザイン学会第 53 回研究発表大会、2006.7) 単
- ・地域連携をテーマにしたタウン誌編集参加の教育プロジェクト(日本デザイン学会第 54 回研究発表大会、2007.6) 単

【過去 5 年間に行った社会的活動】

- ・会津小規模作業所連絡会「地域づくりサポート事業」アドバイザー(2006 年度)
- ・湯川村合併 50 周年記念事業「イメージキャラクター」審査委員(2007 年)
- ・会津ゆかりのリンゴ「緋の衣」ブランド化実行委員会アドバイザー(2007 年度～現在に至る)
- ・平成 19 年度 会津ものづくり人材育成事業における講師(2007 年度～2008 年度)

【職・氏名】 大津 淳 (Otsu Kiyoshi) 産業情報学科 (経営情報コース) 准教授
【生年月日】 1973年9月11日
【専攻分野】 財務会計 税務会計
【担当科目】 財務会計論Ⅰ・Ⅱ、簿記概論、財務管理論、経営情報概論、卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ

【主要著書】

- ・「企業会計の測定と記帳 複式簿記と企業会計」(五紘舎、2007年) 共
- ・「ベーシック税務会計Ⅱ—所得税法・消費税法—」(創成社、2008年) 共
- ・「ベーシック税務会計Ⅰ—法人税法—」(創成社、2008年) 共

【主要論文】

- ・包括利益概念の財務業績としての妥当性—アメリカ・イギリスにおける利益概念を中心として— (研究年報経済学 **64**(2)、東北大学、2002年10月) 単
- ・企業価値評価モデルと資金情報の有用性 (会津大学短期大学部研究年報 **64**、会津大学短期大学部、2007年3月) 単

【過去5年間に公表した論文・報告書・作品・発表会等】

- ・振替価格の設定と経営目標 (会津大学短期大学部研究年報、会津大学短期大学部、2006年2月) 単
- ・公会計制度改革と財務報告目的に関する一考察 (会津大学短期大学部研究年報、会津大学短期大学部、2009年3月) 単
- ・企業価値評価モデルと資金情報の有用性 (会津大学短期大学部研究年報、会津大学短期大学部、2007年3月) 単
- ・その他評論3本

【過去5年間に行った口答発表】

- ・新会社法の資本概念に関する一考察 日本会計研究学会 東北部会 (山形大学) 2006年11月19日

【所属学会等】

日本会計研究学会
日本簿記学会
日本管理会計学会
東北経営会計研究会

【社会的活動】 (過去5年間の各種審議会委員等)

- ・会津若松市都市公園及び市民スポーツ施設指定管理者選定委員(2005年8月～2006年3月)
- ・会津若松市河東地区市スポーツ施設指定管理者候補者審査会委員(2006年9月～2007年3月)
- ・河東農村環境改善センター指定管理者候補者選定委員 (2007年6月～2008年3月)
- ・会津若松地方広域市町村圏整備組合廃棄物処理料金審議会委員 (2008年7月～2009年3月)

【職・氏名】 横尾誠 (Yokoo Makoto) 産業情報学科 (デザイン情報コース) 准教授
【専攻分野】 デザイン学【インターフェイス分野】、メディア情報学
【担当科目】 デジタルデザイン論、デジタルデザイン論演習、CG 論、デザイン情報概論、デザインプロセス論、デザインプロセス論演習、デザインアイテム論、デザイン実習 I、卒業研究ゼミ I・II、地域プロジェクト演習

【主要著書】

【主要論文】

- ・『情報ツールとしてのアイゲイズインタフェースの特性とデザインの要件』単著平成 15 年 3 月九州芸術工科大学 (甲第 70 号), 2003.
- ・『アイゲイズインタフェースのユーザビリティ評価』共著平成 14 年 6 月日本デザイン学会日本デザイン学会誌 研究論文集第 49 巻第 3 号 pp51-60, 2002.
- ・『アイゲイズインタフェースにおける文字入力ツール』共著平成 13 年 11 月 芸術工学会芸術工学会誌 26 号 pp114-117, 2001.
- ・『A Design and Design Process of Reading Test Tool for Animating Character Display』共著平成 11 年 10 月 4th. Asian Design Conference Bulletin ISBN4-9980776-0-0 C3072、pp711-720, 1999.
- ・『The Effect of Animating Character displaying Method to User's Reading』共著平成 11 年 10 月 4th. Asian Design Conference Bulletin ISBN4-9980776-0-0 C3072、pp557-568, 1999

【所属学会等】

日本デザイン学会、
芸術工学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・『地域資源の映像コンテンツ制作に関する研究 -取材テーマの類型化とシーン構成のパターン化による作業の効率化』単著平成 20 年 11 月 芸術工学会芸術工学会誌 48 号 pp52-53, 2008
- ・『地域情報発信事業』会津大学短期大学部地域活性化センター 会津地方振興局 協働事業平成 19 年～平成 20 年
- ・『会津東山温泉観光協会 WEB サイトのリニューアル』平成 18 年

【過去 5 年間に行った口頭発表】

『地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法』単著平成 20 年 9 月私立大学情報教育協会教育改革 IT 戦略大会概要集 pp60-61, 2008.

【過去 5 年間に行った社会的活動】

- ・ 会津産業人材育成推進協議会 (テクノアカデミー会津) 委員 (平成 20 年 9 月～現在に至る)
- ・ 会津大学短期大学部 地域活性化センター 委嘱研究員 (平成 19 年 4 月～現在に至る)
- ・ 湯川村合併 50 周年記念事業「イメージキャラクター」審査委員平成 19 年 5 月
- ・ 会津大学短期大学部 平成 20 年度派遣講座 Web デザイン講座 福島県立郡山北工業高等学校
- ・ 会津大学短期大学部 平成 19 年度派遣講座 Web デザイン講座福島県立郡山北工業高等学校

【職・氏名】 大橋良生 (Ohashi Yoshitaka) 産業情報学科 (経営情報コース) 講師
【専攻分野】 会計学 (財務会計)
【担当科目】 会計学概論, 工業簿記論 I・II, コンピュータ会計, 経営情報概論, 卒業研究ゼミ
I・II

【主要著書】

【主要論文】

- ・ 株式会社の資本会計に対する一考察 (修士論文, 小樽商科大学, 2004年1月) 単
- ・ 資本金の本来的意義と企業規模に対する投資家の評価 (研究年報経済学, 東北大学, 2006年3月) 単
- ・ 負債比率と株主資本コストとの関係—自己資本規模を基準として— (税経通信, 2006年4月) 単

【所属学会等】

日本会計研究学会, 日本監査研究学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・ 資本金の本来的意義と企業規模に対する投資家の評価 (研究年報経済学, 東北大学, 2006年3月) 単
- ・ 負債比率と株主資本コストとの関係—自己資本規模を基準として— (税経通信, 2006年4月) 単
- ・ The market's reaction to the first time issuance of the going concern information in Japan (Proceedings of 20th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, November 2008) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・ GC情報に対する市場の反応とGC監査の意義 (日本会計研究学会東北部会, 2008年11月) 共
- ・ The market's reaction to the first time issuance of the going concern information in Japan (20th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, Paris, November 2008) 共

【過去5年間に行った社会的活動】

【職・氏名】 真鍋 久 (Manabe Hisashi) 食物栄養学科 教授

【専攻分野】 食品機能化学 植物栄養生理学

【担当科目】 食品機能化学、食品学総論、食品学総論実験、食品学各論、食品学各論実験、食環境科学、基礎化学、基礎演習、卒業研究 I、卒業研究 II

【主要著書】

- ・「生命のしくみ」((株)文芸社、2000) 単
- ・「講座 食と環境ホルモン」((株)食生活出版局、2002) 単
- ・「日本型食生活を科学する」((株)信山社、2003) 単

【主要論文】

- ・ Occurrence of D-alanyl-D-alanine in *Oryza australiensis* (Agric & Biol Chem, 49, 1985) 単
- ・ Effect of exogenous D-alanine on D-alanyl- D-alanine content in leaf blades of *Oryza australiensis* (Plant & Cell Physiol, 27, 1986) 単
- ・ Distribution of dipeptides containing D-alanine in *Oryza* species (Phytochemistry, 29, 1990) 単
- ・ D-アミノ酸の分析方法の紹介 (日本食生活学会誌、5 巻、1994) 単
- ・ 納豆の粘質物に見出される D-アミノ酸の種類と存在形態 (日本食生活学会誌、14 巻、2003) 単

【所属学会等】

日本食生活学会(評議員)、日本食品科学工学会、日本農芸化学会、日本土壌肥料学会、氷温学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・ 応用食品学 ((株)IK コーポレーション、2004) 共
- ・ Comparison of the mineral distribution characteristics of seven species of plants growing on Tottori coastal sand dune on summer and early autumn (日本砂丘学会誌、51 巻、2004) 共
- ・ 大豆は魅力あふれる食材です (鳥取大学広報誌「風紋」、9 号、2004) 単
- ・ 在宅高齢者の健康と食事内容の実態調査 (日本食生活学会誌、18 巻、2005) 共
- ・ 鳥取砂丘におけるケカモノハシおよびコウボウムギの無機元素分布特性に及ぼす養分添加の影響 (すげの会会報、11 号、2005) 共
- ・ 日本人の食生活と米 (給食ニュース、1330 号、少年写真新聞社、2005) 単
- ・ 伝統食品を科学する-大豆食品のたんぱく質について- (日本調理科学会誌、38 巻 (2)、2005) 単
- ・ 雑穀の魅力を探る (日本調理科学会誌、38 巻 (5)、2005) 単
- ・ 食生活の根幹を支える「ご飯(米)」～ご飯の特性と効用 (食べ物通信、No.428、2006) 単
- ・ 在宅高齢者の食生活ならびに食嗜好の特徴 (浦上財団研究報告書、16 巻、2009 March) 単

【過去5年間に行った口頭発表】

- 2004 年度：「食品及び食品素材より見出される D-アミノ酸の特徴 (産学官連携フェスティバル 2004「鳥取地域」研究者による研究成果発表会) 単」他 7 報
- 2005 年度：「イネ科植物における D-アラニン含有ジペプチドの存在 (日本土壌肥料学会 2005 年度全国大会) 共」など 7 報
- 2006 年度：「イネ幼植物の D-アラニルグリシン含量におよぼす乾燥ならびに NaCl 処理の影響 (日本土壌肥料学会 2006 年度全国大会) 共」他 5 報
- 2007 年度：「イネ科植物ヨシに存在する D-アミノ酸の特徴 (日本土壌肥料学会東北支部大会) 共」他 7 報
- 2008 年度：「福島県内在宅高齢者の食嗜好調査 その 2 主食について (日本食生活学会第 36 回大会) 共」他 2 報

【過去5年間に行った社会的活動】(主なもの)

- ・ 鳥取県土壌肥料研究会副会長 (2004 年 7 月～2005 年 6 月)
- ・ 鳥取大学農学部非常勤講師 (2006 年度)
- ・ 郡山市長寿社会振興センター「あさかの学園大学」講師 (2006 年度～現在に至る)
- ・ 会津地域食の安全・安心推進連絡会(東北農政局) 委員 (2007 年度～現在に至る)
- ・ 福島県食品産業協議会特別会員本学代表 (2007 年度～現在に至る)
- ・ アグリチャレンジ支援事業選考・評価委員会(喜多方市) 委員長 (2007 年～現在に至る)
- ・ 一日総合大学 2008in 鶴岡中央 講師 (2008 年 8 月)
- ・ 地域特産物創出セミナー(喜多方市) 講師 (2008 年 11 月)
- ・ 食と農の応援団(農文協) 団員 (2008 年度～現在に至る)

【職・氏名】 安江俊二 (Yasue Shunji) 食物栄養学科 教授
【生年月日】 1945. 6. 17
【専攻分野】 生化学 運動生理生化学
【担当科目】 生化学、生化学実験、基礎栄養学、運動生理学、運動生理学実習、有機化学、基礎演習、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、生活の化学、総合科目Ⅰ

【主要著書等】

・「生物化学ハンドブック」(編集委員会編、(株)技報堂、1970) 共

【主要論文】

・5 α -Reduction of Testosterone in Vitro by Seminiferous Tubules, Prostate and Muscle from Immature Rats, (Endocrinologia Japonica, 21, 1974) 共

・Factor Derived from Tumour Cells Lowering Thermotolerance in Mice (Jpn. J. Hyperthermic Oncol., 4 (3), 1988) 共

・On Combination Therapy of Selective Local Hyperthermia and Local Immunomodulator (Hyperthermic Oncology, 1, 1989) 共

・高体温下における循環動態、血中カテコラミンにおよぼす Dantrolene Sodium の影響, (日本麻酔・薬理学会誌, 2 (1), 1989) 共

・【所属学会等】

・日本生化学会、日本体力医学会、日本麻酔薬理学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

・平成19年度経済産業省 地域資源活用型研究開発事業「新たな機能を付加した会津桐によるバリアフリー商品の開発」成果報告書(2008.3) 共

・平成20年度経済産業省 地域資源活用型研究開発事業 同上 成果報告書(2009.3) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

・実験動物マウスを使用したスクリーニングテスト(第51回日本実験動物学会総会、第38回日本実験動物技術者協会総会 合同大会、2004.5) 共

【社会的活動】

福島スローフード連絡協議会副会長(2004~2007)、同会長(2008~)

特色ある大学教育支援プログラム ペーパーレフリー(2004, 2006), 審査委員(2005)

全国公立短期大学協会 理事代理(2003~2004)、同協会 監事代理((2005~2006)

水・温故知新プロジェクト実行委員会 会長(2005~2006)

会津地方地域・職域連携推進協議会座長(2007~)

独立行政法人 大学評価・学位授与機構「達成度状況評価判定会議」専門委員(2008)

財団法人 大学基準協会 平成20年度「短期大学認証評価委員会」分科会専門委員(2008)

【職・氏名】 高橋君子 (Kimiko Takahashi) 食物栄養学科 教授

【専攻分野】 生理化学、組織培養学

【担当科目】 食品衛生学、食品衛生学実験、健康栄養情報論Ⅰ・Ⅱ、解剖生理学実習、
生命のしくみ、基礎演習、卒業研究Ⅰ・Ⅱ

【主要著書】 なし

【主要論文】

- Close similarity between cultured human omental mesothelial cells and endothelial cells in cytochemical markers and plasminogen activator production. (In Vitro Cell. Dev. Biol., 27A(7), 1991) 共
- Lung capillary endothelial cells produce and secrete urokinase-type plasminogen activator. (Am. J. Respir. Cell Mol. Biol., 7(1), 1992) 共
- Increased secretion of urokinase-type plasminogen activator by human lung microvascular endothelial cells. (Am. J. Physiol., 27(Lung Cell. Mol. Physiol.), 1998) 共
- Preservation of the characteristics of the cultured human type II alveolar epithelial cells. (Lung, 182(4), 2004) 共
- Human lung fibroblasts cultivated with HFDM-1 reduced both the secreted PAI-1 and the surface uPA activities. (Tiss. Cult. Res. Commun., 26(2), 2007) 共

【所属学会等】

日本組織培養学会、日本生化学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- Transforming growth factor- β 1 up-regulates the c-met expression in human lung fibroblasts. (東京医科大学雑誌, 62(3), 2004) 共
- Expressions of urokinase-type plasminogen activator, its receptor and plasminogen activator inhibitor-1 in gastric cancer cells and effects of *Helicobacter pylori*. (Scan. J. Gastroenterol., 40(7), 2005) 共
- 喫煙と肺の障害・修復 (線維芽細胞の機能と線維化) (The Lung perspectives, 13(1), 2005) 共
- Involvement of cyclooxygenase-2-prostaglandin E2 pathway in interleukin-8 production in gastric cancer cells. (Digest. Dis. Sci., 51(12), 2006) 共
- The effects of cyclooxygenase2-prostaglandinE2 pathway on *Helicobacter pylori*-induced urokinase-type plasminogen activator system in the gastric cancer cells. (Helicobacter, 13(3), 2008) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- 炎症性刺激によるヒト肺線維芽細胞の線溶系酵素産生 (第44回日本呼吸器学会総会、2004.4) 共
- The regulation of plasminogen activator inhibitor-1 (PAI-1) production with dexamethasone by human lung fibroblasts. (ERS Annual Congress 2005, 2005.9) 共
- Lung fibroblasts regulate the urokinase-type plasminogen activator receptor (uPAR) expression of alveolar epithelial cells and endothelial cells. (ERS Annual Congress 2006, 2006.9) 共
- Co-cultivation with human lung fibroblasts regulates the detachment of human alveolar epithelial cells and endothelial cells. (第11回アジア太平洋呼吸器学会(APSRS)、2006.11) 共
- 合成培地 HFDM-1 を用いた培養ヒト肺線維芽細胞の産生する PAI-1 の検討 (第80回日本組織培養学会、2007.5) 共

【過去5年間に行った社会的活動】

- 日本組織培養学会幹事 (2004年度～2008年度)
- 新潟県中越地震避難所・薬剤師会ボランティア (2004.11)
- 高校生のための組織培養教室 (日本組織培養学会主催) (2005.12)
- 福島県試験研究外部評価アドバイザー (2008年度)

【職・氏名】 西村 政子 (Nishimura Masako) 食物栄養学科 准教授

【専攻分野】 栄養学

【担当科目】 臨床栄養学演習、臨床栄養学実習、応用栄養学、応用栄養学演習、応用栄養学実習、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ

【主要著書】

- ・「最新栄養科学シリーズ 応用栄養学」 (朝倉書店 2005) 共
- ・「MANUARU OF CLINICAL DIETEICS SIXTH EDITION」 AMERICAN DIETETIC ASSOCIATION 編著 (日本語版) (第一出版株式会社, 2005) 共

【主要論文】

- ・高脂血症外来における継続的定期的食事指導について (日本臨床栄養協会「New Diet Therapy」、10-3、1994) 共
- ・高齢期の糖尿病患者の食事指導について (保健の科学、39-6、1997.6) 単
- ・地域における生活習慣病予防教室ー栄養・運動指導の試みー (保健の科学、42-5、2000.5) 共
- ・誤嚥防止のための嚥下補助食品の添加濃度の検討 (女子栄養大学栄養科学研究所年報、8、2000.6) 共
- ・地域における健康維持・増進指導のあり方 (会津大学短期大学部地域総合調査研究室「地域研究」、10、2001.3) 共

【所属学会等】

日本栄養改善学会、日本臨床栄養学会、日本アレルギー学会、トータルライフ医療研究会、福島県栄養士会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

【過去5年間に行った口頭発表】

【過去5年間に行った社会的活動】

トータルライフ医療研究会東北地方会世話人 (1997～現在に至る)
福島県栄養士会理事 (2004～2007)
ふくしま被害者支援センター設立準備委員 (2005～2007)
会津若松市環境審議会委員 (2006～現在に至る)
会津若松市環境大賞選考委員座長 (2006～現在に至る)
会津若松市学校給食アレルギー対応基本指針策定委員会委員長 (2008～2009)
福島県栄養士会会津支部運営委員 (2008～現在に至る)

【職・氏名】 宮下朋子 (Miyashita Tomoko) 食物栄養学科 准教授

【専攻分野】 調理科学

【担当科目】 調理学、調理学実習Ⅰ・Ⅱ、調理学実験、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、基礎演習

【主要著書】

- ・「調理学 ー調理学の基本ー」 (同文書院, 2007,11) 共著

【主要論文】

- ・ゼラチンゾルの冷却条件が及ぼす影響(日本家政学会誌、**44**、1993、p.363-368) 共
- ・寒天混合ゼラチンゾルのゲルへの変換とゲルのレオロジー的特性
(日本調理学会誌、**27**、p.363-368、1994) 共
- ・熱伝達率を利用した非破壊法による調理食品のゲル化温度の測定ー従来法との比較ー
(福島大学教育学部理科報告、**56**、p.25-35,1995) 単
- ・減塩教育の可能性について ー塩分濃度差識別調査からの検討ー
(会津大学短期大学部年報 **63**号、p.139-146(2006) 単
- ・ババロアの物性に及ぼす起酵生クリーム性状と混合時ゼラチンゾルの温度の影響
(日本家政学会誌 **57**、p.469-475、2007) 共

【所属学会等】

日本家政学会、日本調理科学会、日本食生活学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

著書：

- ・「調理学実習 ーおいしさと健康ー」 (アイケーコーポレーション, 2007. 9) 共
- ・「調理学 ー調理学の基本ー」 (同文書院, 2007,11) 共

論文：

- ・減塩教育の可能性について ー塩分濃度差識別調査からの検討ー
(会津大学短期大学部年報 **63**、p.139-146(2006) 単
- ・ババロアの物性に及ぼす起酵生クリーム性状と混合時ゼラチンゾルの温度の影響
(日本家政学会誌. **57**、p.469-475、2007) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・南会津郡南郷村における葬送儀礼と食べ物 ー葬式の昼食に用いられるフカシとモチについてー
(第49回日本家政学会北海道・東北支部総会・研究発表会 2004. 9) 単
- ・ババロアの物性に及ぼす起酵生クリーム性状と混合時ゼラチンゾルの温度の影響 (日本家政学会第57回年次大会、2005. 8) 共
- ・ブラックバスの食材料としての可能性に関する研究(その2) ー普及の効果的な調理法の展開ー
(日本食生活学会 第27回大会、2005. 11) 共
- ・イタリアンメレンゲの性状に及ぼすシロップ温度の影響(日本調理科学会平成19年度大会、2007. 8) 共

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・会津若松市廃棄物処理運営審議会 副委員長 平成17年～20年
- ・会津御膳制作実行委員会委員 会津若松市観光課 平成17年6月～8月
- ・あいづネットワーク創造プラン企画推進会議委員 平成17年7月～平成19年10月7日

【職・氏名】 鈴木秀子 (Suzuki Hideko) 食物栄養学科

【専攻分野】 栄養指導論

【担当科目】 栄養指導論、栄養指導論演習、栄養指導論実習、食生活論、公衆栄養学概論、基礎演習、卒業研究Ⅰ・Ⅱ

【主要著書】

- ・ 「健康南会津 21 計画 げんき いきいき ながいき 広げよう健康の輪 南会津」(福島県南会津保健所, 2002. 3) 共
- ・ 「地区組織支援者のための手引～よりよいパートナーシップを目指して～」(福島県, 2003) 共
- ・ 「食育ガイド 幼稚園・保育所から わくわく どきどき きらきら を広めよう！」(会津大学短期大学部 福島県保健福祉部, 2009) 共

【主要論文】

- ・ CAPD の栄養管理 (摂取量、消費量からの一考察) (福島県立会津総合病院雑誌第 6 巻, 1990) 共
- ・ 生涯を通じた健康づくり体制の整備について～学校保健と連携した地域保健活動から～(福島県保健衛生情報第 9 巻 1999) 共
- ・ 福島県における健康づくりのための食環境整備の現状と課題 (会津大学短期大学部研究年報第 6 2 号・p. 51-66, 2005) 共
- ・ 栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討 (第二報) 栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果 (地域研究第 1 3 号・p. 31-59, 2007) 共

【所属学会等】

- ・ 日本栄養改善学会 ・ 日本公衆衛生学会 ・ 日本食育学会 ・ 日本ヘルスプロモーション学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・ 栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討 (第二報) 栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果 (地域研究第 1 3 号・p. 31-59, 2007) 共
- ・ 食育に関する実態調査報告書 (会津大学短期大学部 福島県保健福祉部, 2008) 共
- ・ 紙芝居「いただきます ごちそうさま」(会津大学短期大学部 福島県保健福祉部発行, 2009) 共

【過去 5 年間に行った口頭発表】

- ・ 飲食店等に関する食環境整備事業にかかる実態調査結果からの一考察 (平成 16 年度福島県保健衛生学会, 2004, 9) 共
- ・ 大学生の食環境整備の試み (第 54 回東北公衆衛生学会, 2005, 7)
- ・ 園児から家庭へつなぐ食育の試み (第一報) (第 2 回日本食育学会, 2008, 5) 共
- ・ 保育施設 (幼稚園・保育所) における食育の実態について ～食育の主な担当者別集計による考察～ (第 55 回日本栄養改善学会, 2008, 9)
- ・ 県内幼稚園・保育所における食育実態調査からの一考察 (平成 20 年度福島県保健衛生学会, 2008, 9) 共
- ・ 食を通じた子育て、子育て支援事業の試み (第 3 回日本食育学会, 2009, 6) 共

【過去 5 年間に行った社会的活動】

- ・ 東北農政局 福島農政事務所 会津地域食育推進懇談会委員 (会長) (2007 年度～現在に至る)
- ・ 小野町食育推進会議委員 (会長) (2008 年 10 月～現在に至る)
- ・ 会津坂下町健康づくり推進協議会委員 (2009 年度～現在に至る)
- ・ 喜多方市食育推進会議委員 (2009 年 5 月～現在に至る)

【職・氏名】 鈴木 和 (Suzuki kazu) 食物栄養学科

【専攻分野】 給食管理

【担当科目】 給食管理、給食管理実習（学内）、給食管理実習（学外）、給食管理演習
基礎演習、卒業研究 I、卒業研究 II

【主要著書】

・特になし

【主要論文】

- ・ 肥満妊婦の体重管理・栄養管理および若年女性の食生活（大阪教育大家政学研究会生活文化研究 2002）共
- ・ 若年女性の葉酸摂取状況（微量栄養素研究会 2002）共
- ・ 若年女性の栄養摂取状況－葉酸など微量栄養素を中心として－（大阪教育大学紀要 2002）共

【所属学会等】

日本給食経営管理学会

日本栄養改善学会

日本家政学会

日本臨床栄養協会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・ 若年女性の飲料および飲料に由来する葉酸の摂取量（大阪教育大学紀要 第II部門 社会科学・生活科学 第54巻2号 2006.2.28）共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・ 若年女性の茶類の摂取と微量栄養素摂取量の検討（第52回日本栄養改善学会 2005.9）共

【過去5年間に行った社会的活動】

特になし

【職・氏名】 大塚 綾子 (Otsuka Ayako) 食物栄養学科 助手

【専攻分野】

【担当科目】 調理学実習・調理学実験・解剖生理学実習・食品衛生学実験等

【主要著書】

【主要論文】

【所属学会等】

日本栄養改善学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての取り組み（会津大学短期大学部 地域研究 第13号）共
- ・栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第一報・第二報）（会津大学短期大学部 地域研究 第13号）共

【過去5年間に行った口頭発表】

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・小児期における生活習慣病予防事業連絡会議（三島町）（2005.3）
- ・磐梯町食生活改善推進員研修会 講師（2005.6）
- ・両沼地区食生活改善推進員会食育研修会 講師（2005.9）
- ・会津坂下町保健推進員研修会 講師（2005.12）
- ・「育児サポーター養成のための、保育サービス講習会」（栄養・食生活）講師（2006～2008）
- ・南会津町食生活改善推進員養成講座 講師（2006～2008）
- ・南会津町食育推進計画策定委員会 アドバイザー（2007～2008）
- ・下郷町湯野上保育所保護者対象「食育講話」講師（2008.2）
- ・南会津町檜沢中学校生徒対象「食育講話」講師（2008.4）
- ・南会津保健福祉事務所出前講座（生活習慣病予防）講師（2008.9）
- ・只見町明和保育所、朝日保育所、只見保育所親子料理教室 講師（2008.10）
- ・南会津保健福祉事務所出前講座（歯周疾患予防教室）講師（2009.1）

【職・氏名】 本間 祐子 (Honma Yuko) 食物栄養学科 助手

【専攻分野】 給食管理

【担当科目】 生化学実験、給食管理 (学内)、給食管理 (学外)
運動生理学実験、食品学各論実験、食品加工実習

【主要著書】

【主要論文】

【所属学会等】

日本食生活学会、日本食育学会、日本調理学会

【過去5年間に公表した論文・報告書・作品・発表会等】

・平成17年度、勤務する新潟市立両川中学校が『食に関する指導研究推進校』の指定を新潟市学校給食会より受け、17年度、18年度、各年に新潟市学校給食会へ報告を行う。

・『中学校における「食に関する指導」の一体的な推進』（共著：両川中学校
教頭、養護教諭、体育教諭、家庭科教諭、学校栄養士（本間祐子）

文責 本間祐子「中等教育資料」文部科学省 教育課程課編集 No. 836 26-31 頁
平成18年1月）

・給食試食会・食育フォーラム同時開催（勤務する新潟市立両川中学校において）
（平成18年1月18日：新潟市立両川中学校、新潟市教育委員会共催）

○ パネルディスカッション『わたしたちをつくる“食”』

パネリストとして 『両川中学校生徒の食生活について』

学校栄養士 本間 祐子発表

・勤務する新潟市立両川中学校において

『新潟市立両川中学校 新潟県学校給食優良校受賞』

（新潟県教育委員会より平成19年11月27日受賞）

【過去5年間に行った口答発表】

【過去5年間に行った社会的活動】

【職・氏名】 谷口 亜希子 (Taniguchi Akiko) 食物栄養学科 助手

【専攻分野】 病態栄養学

【担当科目】 臨床栄養学演習、臨床栄養学実習、応用栄養学演習、応用栄養学実習、食品学総論
実験、食品の官能・鑑別演習、栄養指導論実習等

【主要著書】

【主要論文】

- ・咀嚼が血液動態に及ぼす影響(2006)
- ・PFC 比率が血糖変動に及ぼす影響(2007)

【所属学会等】

日本病態栄養学会

日本栄養士会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・咀嚼が血液動態に及ぼす影響(2006)
- ・PFC 比率が血糖変動に及ぼす影響(2007)

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・咀嚼が血液動態に及ぼす影響(2006 第55回日本生理人類学会 学術大会)
- ・PFC 比率が血糖変動に及ぼす影響(2007 第11回日本病態栄養学会 年次集会)

【過去5年間に行った社会的活動】

【職・氏名】 下村幸仁 (Shimomura Yukihito) 社会福祉学科 教授

【専攻分野】 社会福祉、社会保障

【担当科目】 公的扶助論、社会保障論Ⅰ、社会保障論Ⅱ、社会福祉法制論(2005～2008年度)、現代社会と福祉(2007年度兼担、2008年度専担)、社会福祉実習指導Ⅰ、社会福祉実習指導Ⅱ、社会福祉実習、特別演習

【主要著書】

- ・「生活保護のルネッサンス」(法律文化社、1996) 共
- ・「生活保護法の挑戦—介護保険・ホームレスの時代を迎えて」(高菅出版、2001) 共
- ・「大失業時代の生活保護—いのちと暮らしを支える制度と援助への改革に向けて」(かもがわ出版、2002) 共
- ・「改訂版 これが生活保護だ—福祉最前線からの検証」(高菅出版、2006) 共
- ・「格差・貧困と生活保護」(明石書店、2007) 共

【主要論文】

- ・広島市におけるホームレス支援から見えるもの(福祉のひろば、412、2004)
- ・広島市の路上生活者と生活保護(季刊 shelter-less、22、2004)
- ・失業者と生活保護—広島市の事例からの検討(季刊公的扶助、194、2004)
- ・韓国の国民基礎生活保障法における「自立支援」の権利化(季刊公的扶助、199、2005)
- ・保護「辞退届」裁判から「自立支援」を考える(石崎裁判報告集、2006)

【所属学会等】

社会政策学会、日本社会福祉学会、日本福祉教育学会、貧困研究会、総合社会福祉研究所、公的扶助研究会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・障害者のケアホーム及びグループホームにおける自治と自立支援に関する研究(財団法人みずほ福祉助成財団助成研究報告書、2008.5) 共
- ・貧困・低所得者層に対する就労支援と社会的自立に関する実証的研究(平成17年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究報告書、2008.5) 共
- ・地方の路上生活者の実態と支援活動(公衆衛生、72-9、2008.9)

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・福島市における路上生活者の実態(日本社会福祉学会東北部会第7回大会、2007.12)
- ・「ネットカフェ難民」調査から見えてくるもの(第40回公的扶助研究全国セミナー、2007.11)
- ・自立支援プログラムの浸透と剥奪的貧困(第13回社会福祉研究交流集会、2006.12)
- ・一般居宅生活移行後の支援のあり方(日本社会福祉学会東北部会第8回大会、2008.7)
- ・日本の生活保護制度における自活支援の現状—自活支援の日韓比較のために—(第3回韓国全国社会福祉専担公務員ワークショップ、2008.9)

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・福島県介護保険審査委員会委員(2005年度～現在に至る)
- ・会津若松市保健福祉施設指定管理者選定委員(2005年7月26日～2006年3月31日、委員長)
- ・会津若松市国保審議会委員(2006年度～現在に至る、会長)
- ・福島県国保運営協議会委員(2006年度～現在に至る、副会長)
- ・会津若松市障がい者地域自立支援協議会委員(2007年度～現在に至る、地域生活部会部会長)

【職・氏名】 林 恵津子 (Hayashi Etsuko) 社会福祉学科教授
【専攻分野】 障害児・者福祉
【担当科目】 障害者福祉論、障害児保育論、社会福祉援助技術演習(保育)、社会福祉実習指導、
保育実習 Ia、特別演習

【主要著書】

- ・「事例で学び、実践にいかす障害者福祉」(保育出版社、2008)
- ・「キーワードで学ぶ障害児保育入門」(保育出版社、2008)
- ・「自閉症スペクトラム児との暮らし方—英国自閉症協会の実践ガイド」(田研出版、2008)

【主要論文】

- ・病棟保育における保育士職の専門性 (共栄学園短期大学紀要, 25, 137-153. 2009) 共
- ・保育士養成校における病棟保育実践学習の意義と課題 (共栄学園短期大学紀要, 25, 155-163. 2009) 共
- ・重症心身障害児における運動の意図性評価—脳波基礎律動の事象関連性変動による事例検討— (長崎大学教育学部紀要—教育科学—73, 55-62. 2009) 共

【所属学会等】

日本特殊教育学会、日本心理学会、日本生理心理学会、日本睡眠学会、日本医療保育学会
日本重症心身障害学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

【2008年度に行った口頭発表】

- ・重症心身障害児・者における瞬目を用いた覚醒評価の試み(日本睡眠学会第33回学術集会、2008.6)単
- ・重症心身障害児・者における人関連刺激の受容評価の試み(第26回日本生理心理学会学術大会、2008.7) 共
- ・瞬目研究の新たな展開(1) -重症心身障害児形成評価の測度として- (日本心理学会第72回大会、2008.7)シンポジウム話題提供
- ・重症心身障害児・者の人関連刺激受容評価の試み -瞬きを指標として-(日本心理学会第72回大会、2008.7)共

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・足立区神明福祉園職員研修平成20年6月17日
- ・港区幼稚園教諭研修会 平成20年7月2日
- ・港区教育委員会初任者研修・新規採用者研修・期限付き任用教員任用時研修、平成20年8月5日
- ・春日部市福祉部「子育て相談」平成20年10月23日、平成20年10月30日、平成20年11月6日、平成20年11月13日
- ・埼玉県児童厚生員等研修会 平成20年11月20日
- ・足立区神明福祉園職員研修、平成20年12月7日

【職・氏名】 郭 小蘭 (Kaku Shiolan) 社会福祉学科 准教授

【専攻分野】 発達心理学、臨床心理学、保育学

【担当科目】 臨床心理学、乳児保育 I a、乳児保育 I b 特別演習、社会福祉援助技術演習 (保育)、保育原理Ⅱ、保育実習Ⅱ、保育内容総論

【主要著書】

- ・『新・こどもの心理』(福村出版株式会社, 1996) 共
- ・『親と子のメンタルヘルス』(中央法規出版株式会社, 1997) 共
- ・『児童心理学』(近畿大学豊岡短期大学発行, 1991) 共

【主要論文】

- ・就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表層的思考力の関係 (発達心理学研究第2巻、第2号, 1991) 単
- ・父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力 (南山大学『アカデミア』人文・社会科学編第61号 1995) 共
- ・日本と中国の大学生のストレスとその対処行動 (東京学芸大学紀要、第一部門教育科学第47集 1996) 共
- ・文化特異的養育行動と子どもの発達 I—中国内モンゴルにおける幼児教育と子どもを取り巻く環境に関する予備的調査 (三重大学教育学部研究紀要第50巻 1999) 共
- ・中国の子育てと親の持つ価値的背景について—99年度面接調査からの予備的分析 (平成10-12年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2)(海外)研究成果報告書, 2001) 共

【所属学会等】

心理臨床学会、発達心理学会、学校心理士会、臨床発達心理士会、福島県臨床心理士会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

著書

『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』(保育出版社 2008) 共

論文

- ・学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割—女子中学生のリストカット事例からみた学校システムに対する支援について (会津大学短期大学部研究年報第63号、2006) 共
- ・不登校生徒をもつ母親の面接過程—接し方を巡る母親の葛藤 (会津大学短期大学部研究年報第66号、2009) 単

報告書

- ・保育者養成校と実習施設との連携に関する研究 (福島県保育者養成校連絡会編、2005) 共
- ・子育て支援の取り組みの実態—会津地域の事例から (福島県社会福祉協議会、2008) 単

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・スクールカウンセラーの学校システムに対する調整機能—心の居場所を探している思春期の生徒に対する支援事例 (日本臨床発達心理士会第1回全国大会、2005)

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・会津学鳳中学校高等学校の学校評議員 (H19.4から現在)
- ・会津学鳳高等学校で「職業人講話」の講師 (H19.11.8 H20.12.5)
- ・保育参観・パネルディスカッションのコーディネーター (つるが保育園 H18.7.8)
- ・公開講座「心のサプリメントはありますか」(H19.10.27)
- ・派遣講座「今、求められる保育士の役割」(福島県立いわき総合高等学校 H20.7.16)

【職・氏名】 利根川智子 (Tonegawa Tomoko) 社会福祉学科

【専攻分野】 発達心理学、保育原理

【担当科目】 保育原理 I a、保育原理 I b、発達心理学 I、発達心理学 II、人間関係、
保育実習 I b、特別演習

【主要著書】

- ・アタッチメントー生涯にわたる絆ー, ミネルヴァ書房, 2005

【主要論文】

- ・挑発的場面と偶発場面における幼児の社会的問題解決とその対人行動との関係、埼玉大学紀要教育学部 (教育科学 I) 第 45 巻第 1 号, 1996
- ・幼児の愛着表象と社会的問題解決との関係、埼玉大学紀要教育学部 (教育科学) 第 46 巻第 2 号, 1997
- ・幼稚園児 4・5 歳児の対人葛藤解決、会津大学短期大学部研究年報第 63 号, 2006

【所属学会等】

日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本心理学会、日本パーソナリティ心理学会

【過去 5 年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・幼稚園児 4・5 歳児の対人葛藤解決、会津大学短期大学部研究年報第 63 号, 2006

【過去 5 年間に行った口頭発表】

- ・保育者養成校と実習施設との連携、全国保育士養成協議会東北ブロック秋季総会・研修会, 2005

【過去 5 年間に行った社会的活動】

- ・会津若松市次世代育成支援対策地域協議会 (2004. 9～現在)
- ・会津若松市保育事業検討委員会 (2004. 12～現在)
- ・会津若松市幼稚園協会講演 幼稚園教諭の資質向上の重要性, 2004
- ・会津若松市幼稚園協会講演 保護者との関わり～保育中に気になる子どもの保護者への対応, 2005
- ・会津本郷町教育委員会講演 子どもの元気な心と体を育てる 生活習慣づくり, 2005
- ・どんぐり山保育園 研究アドバイザー (2006～2008)
- ・会津若松市広田所講演 乳幼児期のコミュニケーションの発達, 2007
- ・福島県老人クラブ連合会講演 こころの発達とその問題, 2008
- ・会津若松市中央保育所講演 乳幼児期のコミュニケーションの発達, 2008

【職・氏名】 外崎 紅馬 (Tonosaki Kouma) 社会福祉学科

【専攻分野】 社会福祉 社会福祉援助技術 福祉教育

【担当科目】 社会福祉学概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術Ⅱ・Ⅲ、社会福祉基礎演習、特別演習、社会福祉実習指導Ⅰ・Ⅱ、社会福祉実習指導、社会福祉実習、現代社会と福祉

【主要著書】

- ・「サクセスフルエイジングのための福祉」(勁草書房、2001) 共
- ・「障害者福祉論」(学文社、2005) 共

【主要論文】

- ・生涯学習施設としての社会福祉施設の機能と役割(日本介護福祉教育学会「介護福祉教育」第15号、2003) 単
- ・福祉施設における人権侵害の構成要素に関する研究(日本介護福祉学会「介護福祉学」vol10、2003) 単
- ・社会福祉施設の生涯学習援助機能に関する研究(日本介護福祉教育学会「介護福祉教育」第17号、2004) 単
- ・生涯学習社会における福祉施設の役割と学習者の意識(日本福祉文化学会「福祉文化研究」第13号、2004) 共
- ・援助の質的向上に関する構成要素の検討(日本介護学会「介護福祉士」第8号、2007) 単

【所属学会等】

日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本保育学会、日本教育カウンセリング学会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

(著書)「障害者福祉論」(学文社、2005) 共

(論文)

- ・社会福祉施設における利用者の基礎生活の実態と生活のレクリエーション化支援に関する考察(日本介護福祉教育学会「介護福祉教育」第19号、2005) 共
- ・社会福祉施設における生活認識の検討(保健福祉学研究第5号、2007) 共
- ・社会福祉施設における福祉教育の質的構成要素に関する検討(会津大学短期大学部研究年報第65号、2008) 単
- ・(他5編)
- (報告書)
- ・社会福祉協議会と学校における福祉教育・ボランティア学習の実態調査(社会福祉法人福島県社会福祉協議会、2008) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・社会福祉施設における生活認識についての考察、日本介護福祉学会第13回大会(神奈川県立保健福祉大学)、2005年10月
- ・(他6本)

【過去5年間に行った社会的活動】

2007年4月～ 福島県社会福祉協議会 ボランティア活動推進委員会 委員長

2007年4月～ 福島県福祉人材センター運営委員会委員

【職・氏名】 久保美由紀 (Kubo Miyuki) 社会福祉学科 講師

【専攻分野】 社会福祉学

【担当科目】 老人福祉論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論、社会福祉援助技術各論Ⅱb、社会福祉援助技術演習、社会福祉実習Ⅰ、社会福祉実習指導、社会福祉実習Ⅱ、特別演習

【主要著書】

- ・「新時代の地域福祉を学ぶ」(株みらい、2002) 共
- ・「新選・高齢者福祉論 一部改訂」(株みらい、2008) 共
- ・「地域福祉論—地域福祉の理論と方法」(へるす出版、2009) 共

【主要論文】

- ・社会福祉サービスアクセス困難層に対する支援体制の現状と課題 (福祉マネジメント研究, 第2号・第3号合併号, 2004)
- ・社会福祉専門職の養成に関する課題と今後の方向性—対人援助職としての社会福祉専門職の養成に向けて— (医療・福祉問題研究, 第16号, 2007)
- ・ひとり暮らし高齢者の地域生活継続を支えるための食生活支援とは (月刊ゆたかなくらし, 321号, 2009)

【所属学会等】

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本居住福祉学会、全国老人福祉問題研究会、医療・福祉問題研究会、貧困研究会、公的扶助研究会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・「新選・高齢者福祉論 一部改訂」(株みらい、2008) 共
- ・「地域福祉論—地域福祉の理論と方法」(へるす出版、2009) 共
- ・今後の高齢者研究方法の視座に関する一考察—P. タウンゼントの親族調査の再評価を通して (会津大学短期大学部研究年報, 第64号, 2007)
- ・単身高齢者の地域生活を支える地域ケアネット構築の方法に関する研究—単身高齢者の生活継続を支えるヒューマンネットに焦点をあてて— (財団法人ユニバーサル財団調査研究報告書, Vol. 16, 2008)
- ・小地域における高齢者支援の取り組み—イギリスでの取り組み事例から (会津大学短期大学部研究年報, 第65号, 2009)

【過去5年間に行った口頭発表】

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・福島県介護保険審査会委員 (2005年度～現在に至る)
- ・会津若松市介護保険運営協議会委員 (2006年度～2008年度)
- ・福島県事業評価委員会委員 (2008年度～現在に至る)

【職・氏名】 鈴木崇之 (SUZUKI Takayuki) 社会福祉学科 講師

【専攻分野】 児童福祉論、社会的養護の原理と内容、司法福祉論、子ども家庭臨床の社会学

【担当科目】 児童福祉論 養護原理 養護内容論 社会福祉援助技術演習 社会福祉実習 社会福祉実習指導Ⅰ 社会福祉実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 特別演習 (鈴木)

【主要著書】

- ・『児童虐待時代の福祉臨床学—子ども家庭福祉のフィールドワーカー』(2002年、明石書店) 共編
- ・『児童自立支援施設の可能性—教護院からのバトンタッチ—』(2004年、ミネルヴァ書房) 共
- ・『よくわかる養護内容・自立支援』(2007年、ミネルヴァ書房) 共編

【主要論文】

- ・「児童自立支援施設のウェルビーイング」(畠中宗一編『現代のエスプリ (特集：子どものウェルビーイング)』(2005年、至文堂) 単
- ・「沖縄県近海離島における次世代育成支援」(2006年、平成15年度～平成17年度科研費研究成果報告書『過疎化・超高齢化に直面する沖縄「近海離島」における持続的発展モデルの構築』) 単
- ・「地域における非行対策推進に関する研究Ⅰ・Ⅱ」(2006-2007年、財団法人こども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業報告書) 共

【所属学会等】

日本社会福祉学会、日本子ども家庭福祉学会、日本司法福祉学会、日本社会学会、日本家族社会学会、全国児童相談研究会

【過去5年間に公表した著書・論文・報告書・作品・発表会等】

- ・『新版・社会福祉援助技術』(2005年、学文社) 共
- ・『よくわかるファミリーソーシャルワーク』(2005年、ミネルヴァ書房) 共
- ・『シードブック・子どもの社会的養護』(2006年、建帛社) 共
- ・『マルトリートメント 子ども虐待対応ガイド』(2008年、明石書店) 共訳
- ・『養護原理 (シリーズ・はじめて学ぶ社会福祉④)』(2009年、ミネルヴァ書房) 共

【過去5年間に行った口頭発表】

- ・「沖縄県近海離島における次世代育成支援 ——地域子育て支援を中心に——」(2006年、日本子ども家庭福祉学会第7回全国大会自由研究報告) 単
- ・「渡真利源吉と琉球政府児童相談所の創設 ——ライフヒストリーに基づく戦後沖縄児童福祉史研究 (その3) ——」(2006年、日本社会福祉学会第54回全国大会自由研究報告) 共
- ・「要保護児童対策地域協議会における非行ケース処遇の実態」(2007年、日本子ども家庭福祉学会第8回全国大会自由研究報告) 共
- ・「渡真利源吉と琉球政府児童福祉施策の展開 ——ライフヒストリーに基づく戦後沖縄児童福祉史研究 (その4) ——」(2007年、日本社会福祉学会第55回全国大会自由研究報告) 共

【過去5年間に行った社会的活動】

- ・全国児童相談研究会運営委員 (2006年度～)
- ・日本司法福祉学会学会誌編集委員 (編集責任者) (2006年度～)
- ・神戸少年の町乳児院職員研修会講師 (2006年度～2008年度)
- ・福島県児童虐待対応専門員 (2007年度～)
- ・福島県若松乳児院苦情解決第三者連絡会議委員 (2007年度～)
- ・会津美里町幼児教育ビジョン検討委員会委員 (2008年度)